



Dr. ババサヘブ・アンベッカー ・マラスワダ大学経済学部

Department of Economics, Dr.Babasaheb
Ambedkar Marathwada University, India



インド

●学部学生 1万人 ●大学院生 約 100人 ●教職員 約 450人

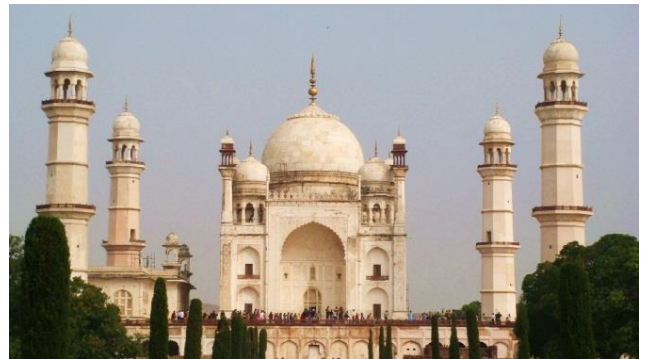
ホームページ <http://www.bamu.ac.in/>

交流協定締結年月日：2018年7月26日 主管学部：経済学部



交流実績（平成30～31年度）

年度	年度	
	H30	H31
受入・派遣		
学生の受入	3	0
学生の派遣	0	0
研究者・職員の受入	0	0
研究者・職員の派遣	1	1



国際交流の特色

香川大学経済学部は2018年より、インドDeccan高原にあるAurangabad市のDr. B.A.Marathwada大学経済学部との間で国際交流協定を結んでいます。Dr. B.A.Marathwada大学はかなり大きな規模の大学です。Marathwada地方(人口約2千万)における教育の中心となっています。この地方には仏教で大事なAjantaとEllora Caves(ともに世界遺産)も有りますので、日本人観光客も多いです。また南インドのTaj Mahalと言われているお墓もあります。大学には40以上の学部があり、学生数は約45万人にも達します。経済学部は地域発展と地域貢献にかなり力を入れています。香川大学経済学部との間で学生のShort Visit、共同研究会、研究者交流を望んでいます。昨年、現在学部長であるマハジャン博士のLeadershipにより大きな学会が開かれ、ラナデ教員はKeynote Speakerとして参加しました。現在その学会発表を中心に本を出版する作業を行っています。2018年8月中旬にはDr. B.A.Marathwada大学の大学院生(約100人)のためにラナデ教員が4回講演しました。2018年10月には1人の教員が香川大学経済学部にてShorth Visitの予定でしたが、急に入試の仕事の関係で来れなくなりました。2019年8月にDr.B.A.Marathwada大学の大学院生(約100人)のためにラナデ教員が4回講演しました。

教員からの声

今年8月後半に、Dr.BAMU経済学部にて講演、教員研究者と意見交換と経済理論の研究打ち合わせをしました。2週間の間、学生と様々な話しをしながら、打ち解け合い交流を深めました。大学には様々な学生がおり、補助金をもらって日本へ留学する学生もいます。

香川大学経済学部教員、ラナデR.R.